

第3章

保健医療圏の 設定

第1節 保健医療圏の趣旨

すべての県民が、等しく保健医療サービスを受けることができ、人口の高齢化や疾病構造の変化に対応し、また、基本的な医療から専門的・特殊な医療に至るまで、各段階を受け持つ医療機関等が、それぞれの機能を分担し、有機的に連携を図りながら、保健医療サービスを提供できる医療提供体制の整備が求められています。

これらに対応しつつ、県民に適切な保健医療サービスを効率的に提供するためには、県民の生活行動の実態を踏まえ、行政機関や各種関係団体と整合のとれた適当な広がりを持った圏域を設定し、それぞれの圏域における保健医療需要を把握し、これに基づいて保健医療サービスのあり方を検討し、計画的に提供していくことが必要です。

このため、保健医療資源の有効活用を図り、保健医療機能の効率的・効果的な整備促進を図るため、次の「保健医療圏」を設定します。

第2節 保健医療圏の設定

1 保健医療圏の区分

(1) 1次保健医療圏

県民が日常生活に密着した保健医療サービスを受ける圏域であり、市町村域とします。

(2) 2次保健医療圏（医療法第30条の4第2項第10号に規定する区域）

原則として入院医療（高度・特殊な医療を除く。）の需要に対応し、健康増進から疾病予防、診断・治療及び在宅医療に至るまでの包括的な医療提供体制の整備を進める圏域であり、複数の市町村とします。

(3) 3次保健医療圏（医療法第30条の4第2項第11号に規定する区域）

専門的、特殊な保健医療サービスを供給するための圏域であり、県全域とします。

2 2次保健医療圏の設定

地理的条件、交通条件、生活圏としての一体性、県民の受療動向、医療機関の設置状況、保健・医療・福祉の連携、医療施設機能調査による患者動向などを総合的に考慮し、現行の6つの保健医療圏を維持することとし、次表のとおり保健医療圏を設定します。

2次保健医療圏

圏域名	構成市町村数	圏域人口	圏域面積(km ²)	構成市町村名
東部	10 (2市7町1村)	462,382	679.62	徳島市 鳴門市 佐那河内村 石井町 神山町 松茂町 北島町 藍住町 板野町 上板町
東部	2 (2市)	86,858	335.16	吉野川市 阿波市
南部	5 (2市3町)	139,070	1,198.09	小松島市 阿南市 勝浦町 上勝町 那賀町
南部	3 (3町)	25,624	525.00	美波町 牟岐町 海陽町
西部	2 (1市1町)	46,287	562.18	美馬市 つるぎ町
西部	2 (1市1町)	49,729	844.19	三好市 東みよし町
合 計	24 (8市15町1村)	809,950	4,144.24	

(注) 人口は、平成17年国勢調査による。

第3節 基準病床数

基準病床数は、医療圏内における望ましい病床の水準を示すとともに、圏内において必要な入院治療を受けられるよう病床の適正配置を促進するために設定します。

基準病床数は、2次保健医療圏の区域における療養病床及び一般病床並びに県全域における病院の精神病床、感染症病床及び結核病床について、医療法の規定に基づき、医療法施行規則に規定する基準により定めます。

なお、基準病床数は、病床区分ごとに算出しますが、一般病床と療養病床については、両病床を合わせたものとして算定することとなっています。

2次保健医療圏における療養病床及び一般病床の基準病床数

保健医療圏	基準病床数	既存病床数 (H19.3.31現在)	過不足病床数
東 部	4,674	7,263	2,589
東 部	763	1,357	594
南 部	1,238	1,870	632
南 部	88	227	139
西 部	182	651	469
西 部	409	768	359
合 計	7,354	12,136	4,782

県全域における精神病床数、感染症病床数及び結核病床数

区 分	基準病床数	既存病床数 (H19.3.31現在)	過不足病床数
精神病床	3,032	4,071	1,039
結核病床	47	103	56
感染症病床	21	14	7

(注) 過不足病床数がマイナスの数値である場合は、非過剰であることを示す。

2次保健医療圏域図



